

今年も一部地域で水害による大きな被害がでてしまいました。心からお見舞い申し上げます。昔からライフライン、治水が大事だと言われています。水は命の源です。飲み水・灌漑用水・工業用水等、水は多方面於いて重要な役割を担っています。自然は今回の様に毎年どこかで大きな災害をもたらします。これから台風季節です。日々、大難は小難にと願うものです。人生訓として水は器に従ってその姿を変えていきます。がオーバーフローした時にその対処の仕方を間違えると大変な事に成ります。自然災害の中にも人的被害が大きな位置を占めていると思われれます。

高田好胤師は般若心経の空について **偏らないころろ・こだわらない心・とらわれない心・広く・広くもつと広く**と説いてみえます。心は不変ではないので様々な色に変化します。喜怒哀楽です。

晴天の日には夜に成れば無数の星と共に月が拝めます。法然上人は 丹影の至らぬ里は無けれども眺むる人の心にぞすむ」と詠われました。月は心の表現によく使われます。池に映る月が素晴らしいので取ろうとするが取れないという例えがあります。心の本性は実体がないので掴み取る事が出来ないのです。心まかせの身こそ安けれ」と、**我は心任せに何時なれるやら**。

仏教でよく使われる言葉に **諸悪莫作 衆善奉行 自浄其意 是諸仏教**とあります。悪事も煩惱の仕業です。堪忍第一です。智の目により、行の足をもつて煩惱から離れよ、とあります。土産物の湯呑によく書かれている **大は大きく己は小さく心は丸く腹を立てずに気は長く**「まさに佛の願うところ 忌 己利他」です。我々は諸仏諸菩薩を欺くことなく、他の人々をも欺くことなく、そして**自分自身をも欺く事が無いように生活する事**、これが仏道を進むという事です。

仏道とは極楽に続く道の事です。

栄西禅師は **茶は養生の仙薬であり、人の寿命を延ばす妙術を具えたものである**と心の臓にも茶が良いと言われた。しかし茶も摘み採る時機あり。雨の日や曇りの日には摘み採らないし、焙る事無く、蒸す事もしない。こうしてできた御茶を用いればの話です。無養生が健康を損ね病を引き起こすとされ、又、昔も今も変わらないのが誤診です。禅師は ひそかに今の世の医術を聞くに薬を飲む事によって、心地 心身 をそこなうようなことをしているが、それは病と薬とが適合していないためである」と言われた。薬の弊害に悩んで見える方も多いと思われれます。経によれば 肝臓は酸味を好む、肺臓は辛味を好む、心臓は苦味を好む、脾臓は甘味を好む、腎臓は鹹味を好む」と。又、肝は東・春・魂・眼を示し、肺は西・秋・魄・鼻を示し、心は南・夏・神・舌を示し、脾は中・四季の末・志・口を示し、腎は北・冬・骨髄・耳を示す」との説明在り。山田恵諦師は そのものを生かそうとする手立てを講じないならば、もう慈悲心もなければ、愛の心もないことになってしまいます」と。松原泰道師は空を 愚のわかる人物」と言ってみえます。八月一日